

令和5年度 衣川中学校 学校経営方針

1 校 訓 自律・連帯・創意・責任

2 教育目標 「正しく・明るく・強く」

- 正しく判断する力を養い、真理を追求する生徒の育成。
- 支え合いの精神を培い、明るく社会性のある生徒の育成。
- 強い体と豊かな心を育み、実行力と責任感のある生徒の育成。

3 スローガン ～みんなでみんなを～

- 美しさのわかる人になろう
- 人権と生命を大切にする人になろう
- 自分の頭で考える人になろう

4 めざす学校像

- (1)美しい学校
- (2)人権と生命が保障される学校
- (3)学びたくなる学校

5 めざす生徒像

- (1)自律する生徒
- (2)連帯する生徒
- (3)創意のある生徒
- (4)責任の持てる生徒

6 めざす教職員像

- (1)人間性豊かな教職員
- (2)生徒・保護者・地域に信頼される教職員
- (3)生徒を主語にして考える教職員
- (4)情熱のある教職員

7 本年度の重点目標

- (1)命と人権を大切にした安全・安心な学校づくり
- (2)特別支援教育の視点に立った生徒指導の充実
- (3)生きる力を支える確かな学力の育成
- (4)自発的・自治的な生徒会活動の推進

8 具現化するための主な手立て

(1)学習面「知」の観点から

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。 ※「目当て」「振り返り」の定着
- ②個に応じた指導の工夫とICT機器(タブレット等)を有効活用した授業実践。
- ③特別支援教育の更なる充実と、ユニバーサルデザインの視点に立った授業研究。
- ④リタリコを積極的に活用した個別の指導計画の作成と支援の充実。
- ⑤教科等横断的な学習の推進。
- ⑥各教科における3年間通しての育てたい力の明確化。
- ⑦生徒の自主的な学習を促す自学ノートの活用。

(2)心の教育「徳」の観点から

- ①「考え、議論する」道徳授業の工夫と改善。
- ②人権感覚の育成と規範意識の醸成を図るための取組の推進。
(人権、LGBTQ+、マナー、SNS等講習会の開催)
- ③生徒1人ひとりの個性(特性)を尊重した生徒指導の実践。
- ④生徒の居場所づくり(教職員主導)と生徒間の絆づくり(生徒主体)を意識した場の設定。
- ⑤教師全員で取り組むローテーション授業の定着。
- ⑥キャリア教育の工夫と改善。(体験学習、生き方学習、進路学習等)

(3)健康「体」の観点から

- ①自ら、体力・運動能力の向上を図ろうとする取組の推進。
- ②生徒会の自主的な取組を尊重した体育的行事の充実。
- ③生徒の自主性を尊重した部活動運営。
- ④食育の推進とアレルギー疾患への適切な対応。
- ⑤ジェンダー教育、性教育を通した健やかな体の育成。
- ⑥業務の効率化と勤務時間の適正化の推進、並びに、ワークライフバランスの充実。

(4)環境「安全・安心」の観点から

- ①事故未然防止のための生徒の見守り活動(登校指導、校内巡回等)の継続。
- ②校内の教育支援教室「なぎさ教室」や市の教育支援センター等の有効活用。
- ③通級指導教室の環境整備。
- ④教育相談体制の充実。
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の有効活用。
 - ・教育委員会や関係機関(こどもセンター、発達支援センター、明石警察等)との連携。
- ⑤自ら判断して行動し、安全を確保できる意識を高める防災教育の実施。
- ⑥安全・安心な給食を実施するための食物アレルギー対策研修の継続。

(5)連携「学校・家庭・地域」の観点から

- ①学年通信や学校HP等を活用した情報発信。
- ②家庭訪問やオープンスクールの実施。
- ③学校運営協議会の活性。
- ④ユニット会議の推進。
- ⑤8校園所長会での情報共有。
- ⑥地域行事への参画。